平成 26 年 4 月 17 日

各　位

会社名　　電源開発株式会社
代表者名　代表取締役社長　北村　雅良
（コード：9513、東証第一部）
問合せ先　秘書広報部広報室　課長　北風　正男
（TEL．03-3546-2211）

松浦火力発電所２号機での定期点検中の事故について（第２報）

当社の松浦火力発電所２号機（以下「松浦２号機」）の低圧タービンロータ落下事故について、復旧に向けた取組みをお知らせいたします。

記

１．復旧に向けた取組み

平成 26 年３月 28 日に、定期点検中の松浦２号機の低圧タービンロータが落下し損傷する事故がありました（同日お知らせ済み）。現在、事故原因の特定を進めるとともに、早期の発電再開に向け以下の取組みを行っています。

なお、復旧時期は現時点では未定です。

(1) 低圧タービンロータの検査

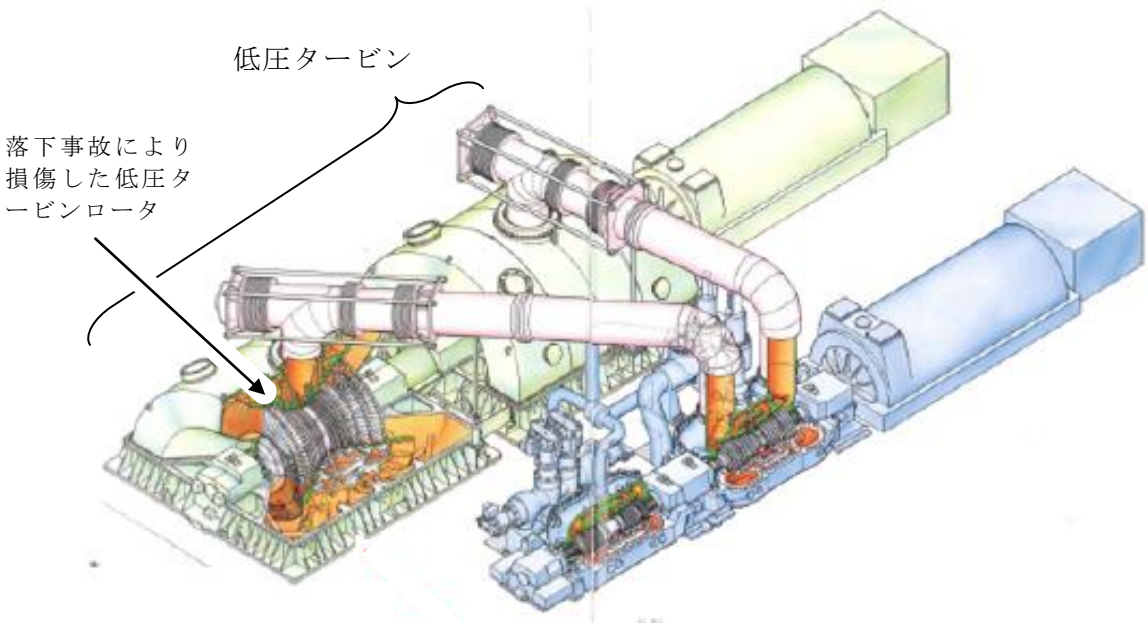
損傷した低圧タービンロータの再使用の可否等を判断するために、製作メーカーの工場で精密検査を行っています。再使用による定格出力での本格復旧の可否、可能である場合の発電再開時期は、本年５月末に判明する見込みです。

(2) 低圧タービンロータの新規製作

損傷した低圧タービンロータの再使用が困難な場合に備え、(1)と並行して低圧タービンロータの新規製作を開始しています。新規製作品により本格復旧する場合、現時点では平成 27 年 12 月となる見込みです。

(3) 仮復旧の検討

早期の復旧に向け、本格復旧を待たず可能な限りの出力を確保する方策として、部分負荷での仮復旧をあわせて検討しています。その実現可否、可能である場合の発電可能出力や発電再開時期は、本年５月末に判明する見込みです。



【松浦火力発電所２号機　タービン・発電機　鳥瞰図】



【損傷した低圧タービンロータ】

２．対応体制

社長を本部長とする全社大の対策本部を設置し、早期復旧および原因究明に向け取り組んでいます。また、原因究明と再発防止については、社外の有識者の方々を含めた委員会を設置し、その意見・検証を取り入れ対応に万全を期してまいります。

３．今後の見通し

業績に与える影響につきましては調査中であり、判明次第お知らせいたします。

４．その他

本取組みの状況については、本日開催の経済産業省の電力需給検証小委員会に報告いたします。

以　上